

設計・計画部門



木村 祐太

生年月日 1983年 1月大阪生まれ
 最終学歴 2007年京都大学大学院
 工学研究科都市環境工学
 専攻修士課程修了
 業務経歴 2007年 ㈱竹中工務店
 入社
 2008年 開発計画本部
 2016年 JAPIC（出向）

●担当した主なプロジェクト
 名古屋市金城ふ頭駐車場整備
 岡山市表町三丁目市街地再開発
 グローバルゲート
 EXPO CITY

■青年技術者のことば

建築・都市においても産官学連携が期待される中、「まちづくりの核となる官民連携施設を創りこむプロジェクト」に関わらせて頂きました。その中で私は、施設整備により街がどう活性化するのか、街に訪れる人・施設を利用する人にとって魅力的な場所になるか、という視点を大切にしながら取り組んできました。

まちづくり・都市開発の視点からプロジェクトを推進する中で、私が常に意識していることは、都市に訪れる人・建築を利用する人の立場に立つて考えることです。街を行き交う人々は建築や都市の専門家ではなく、感覚的に自分たちの行きたい場所、楽しい場所を発見し、自分たちの居場所を見つけていると考えています。人々が行ってみたいと思う街を建築・都市の専門的な立場から計画していく時にも、常に良い意味での素人目線を持ち続けることを大切にしています。

建築・都市を創っていく過程においては非常に複雑で様々な課題解決が必要になりますが、できる限りシンプルに多くの人々が納得できる形での答えを導き出し、最後にその場所を利用する、街を行き交う人々が心地よく過ごせるようなまちづくりの実現に貢献していきたいと考えています。

■すいせん者

大倉克仁
 ㈱竹中工務店
 開発計画本部 部長（西日本担当）

まちづくりの核となる官民連携施設の創りこみ①

／名古屋市金城ふ頭駐車場（仮称）整備事業

当プロジェクトは、名古屋市が「モノづくり文化交流拠点」として位置づける金城ふ頭地区の集約駐車場を整備するもので、その規模は一棟駐車場としては日本最大の5,000台である。

私は、単に高効率な駐車場施設を追及するのではなく、国際会議場やレゴランドなど多様な機能が集積する金城ふ頭地区の活性化に貢献する駐車場として、施設を計画していく必要があると考えた。そこで「Parking Park：公園のような駐車場」という計画コンセプトを創り、安全性だけでなく利用者の快適性など様々な付加価値を提供する駐車場として、まちづくりの核となる施設創りを目指した。



外観パース



ゲートウェイ（歩行者のための空間）



エコポッド（駐車場内観）

まちづくりの核となる官民連携施設の創りこみ②

／岡山市表町三丁目10番11番23番24番地区第一種市街地再開発事業



鳥瞰パース

当プロジェクトは、老朽化した岡山市民会館と岡山市民文化ホール2施設を一つの施設として移転建替えし、その開発を起爆剤として商店街の活性化を目指すプロジェクトである。当地区では文化芸術施設誘致に向けて再開発準備組合が立ち上がり、当社は事業協力者としてプロジェクトに関わっている。2014年末に移転建替えの候補地選定コンペが行われ、私は地元との意見調整やコンセプト提案など、コンペ当選に向けて注力した。